

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書

様式1

No. 12030020

政策目標	3	のびやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 平成25年度 調査・まとめ 平成26年度 基本計画策定 平成27年度 建設敷地現況測量業務委託 2,000千円 平成28年度 プロポーザル実施に向けた準備 平成29年度 プロポーザル、基本設計、実施設計委託 90,000千円 平成30年度 図書館建設 760,000千円、工事監理委託等 16,000千円 平成31年度 外構工事(完成工) 40,000千円
基本施策	13	生涯学習・生涯スポーツの推進	事業優先度	A		
単位施策	4	図書サービスの充実	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	雄武町図書館建設事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	12 教育委員会教育振興課		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	調査、基本計画策定、図書館建設		関係課	#N/A		
事業目標	調査に基づく方向性の確立、1計画、1施設		ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
住民参加 住民協働	有	行政からの情報発信、住民からの意見の聴取・情報共有	関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成25年度 事業内容	平成26年度 事業内容	平成27年度 事業内容	平成28年度 事業内容	平成29年度 事業内容
計 画 内 容	●図書館施設のあり方等、整備に向けた調査及びまとめ ●基本計画策定 ●プロポーザル・基本設計委託・実施設計委託	調査・まとめ	基本計画策定	基本計画策定 建設敷地現況測量業務委託	プロポーザル実施に向けた準備	プロポーザル 基本設計委託 実施設計委託
	事業費(千円)	92,000	0	0	2,000	0
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
実 績 事 業 費	一般財源	92,000			2,000	90,000
	事業費(千円)	1,901	0	0	1,901	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等) 「雄武町図書館を考える会」からの提言により、「建設すべき」との方向性が示された。	(実施内容等) 道内図書館の視察を行い、基本計画の内容について検討・整理しているが、完成には至らなかった。	(実施内容等) 基本計画の内容について方向性は定まったものの、建設が1年先送りとなったことに伴い、平成28年度も策定業務に費やして細部まで煮詰めることとした。	(実施内容等)
	地域づくり総合交付金 過疎対策事業債	【評価・実績】	※事務事業評価結果 C-継続/内容の見直し・変更	※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値	調査に基づく方向性の確立	1計画	1施設	1施設
	第6期計画への継続 (継続無し)	年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	95%	#DIV/0!
	第6期計画への継続 (継続無し)	全体達成率	0%	0%	2%	2%
(継続無し)	備考欄					

事業名	雄武町図書館建設事業	評価者	管理職 職氏名	教育振興課長	澤田 朋朗
		評価者	作成者 職氏名	教育振興課長補佐	石山 英伸

様式1
平成27年度実施
平成28年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	利用者(町民)	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	基本計画策定及び建設敷地現況測量業務	
【抱える課題やニーズは】	図書館は、地域の情報拠点であり、町民誰もが居心地のよい場所として利用できる空間であるが、現在の図書館は施設が狭隘であり、町民ニーズを十分に満たすことができていない。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	十分な閲覧スペースや学習スペース、蔵書を備えた新たな図書館を整備することにより、地域の情報拠点としての役割を果たし、町民の生涯学習の推進、地域の活性化を図る。	① 基本計画策定	目標年度	平成27年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	いつでも、誰でもが気軽に立ち寄れる、居心地のよい空間となることにより、町民相互のコミュニケーションの場ともなり、町民の生涯学習の推進、地域の活性化が図られる。		目標値	1計画
		実績値	0計画	
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	基本計画策定	② 建設敷地現況測量業務	達成度	0.0%
	建設敷地現況測量業務		目標年度	平成27年度
			目標値	1業務
			実績値	1業務
			達成度	100.0%
			基本計画の内容について方向性は定まったものの、建設が1年先送りとなったことに伴い、平成28年度も策定業務に費やして細部まで煮詰めることとした。	
			建設予定地の現況測量を完了した。	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	現在の図書館における課題解決のため、地域の情報拠点として位置付けられる新たな図書館の整備は、町民の生涯学習の推進、地域の活性化のために必要であり、行政が推進すべきものである。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	基本計画の内容について方向性は定まったものの、建設が1年先送りとなったことに伴い、平成28年度も策定業務に費やして細部まで煮詰めることとした。測量業務については、計画どおり建設予定地の現況測量を完了した。
	<input type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	市場価格を反映した積算による設計のうえ入札執行を行い、事業費の抑制に努めた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

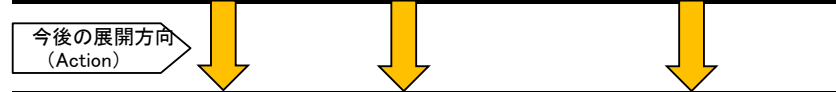
公平	判断の理由	図書館は町民誰もが居心地のよい場所として利用できる空間であるとともに、新たな図書館の整備は町民のニーズに応じたものであることから、公平性は保たれている。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B		
基本計画の内容について方向性は定まったものの、建設が1年先送りとなったことに伴い、平成28年度も策定業務に費やして細部まで煮詰めることとした。測量業務については、計画どおり建設予定地の現況測量を完了した。		



継続/現状維持		
基本計画を完成させ、細部の調整を進めるとともに、基本設計及び実施設計に向けた準備を進める。		

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 - 終了 ○休止 ○廃止